

Fresh Talk

～ フレッシュトーク ～



株式会社オダ建設

菅原 孝映さん

「住宅の設計ができる建築士になりたい。」そう話すのは、雄武高校を卒業後、株式会社オダ建設に入社して5年目になる菅原さん。

「高校の就職面談で生徒指導の先生からオダ建設を紹介されたとき、中学・高校時代にインターンシップでお世話になっていて、職場の雰囲気良かったことを思い出し、受けてみようと思った。」と応募した経緯を話してくれました。

現在は外壁の改修工事や面積の計算などを担当しています。

「最初は、大工としての採用でしたが、会社が専門学校に通わせてくれて、そこで設計士の勉強をすることができたおかげで、今の仕事を任せてもらえています。」と会社への感謝の気持ちが伝わります。

「今は、材料の数量計算などを主にやっているのですが、答え合わせができないことが大変です。学生のころは、問題があつてそれに対する答えが必ずありました。しかし、今の仕事は、自分で答えを探さなくてはならず、失敗が許されません。なので、先輩や上司にアドバイスをいただきながら、失敗をしないように心がけています。でも、そのような重要な仕事を任せてもらえていることにやりがいを感じています。」と力強く話します。

「将来は、建築士の資格を取得したい。そして家の設計を任せてもらえるようになりたい。」「まだまだ、勉強することはたくさんありますが、まずは経験を積んで素晴らしい仕事ができるように頑張ります。」と将来の目標に向けて日々努力を続けます。

雄武町民憲章（町民の誓い）

雄武町民わたしたちは、オホーツクのきびしい自然を生き、父祖・先人の労苦を感謝しながら、郷土愛にみちた町づくりと、ひとりひとりのしあわせのため、一すこやかに、なごやかに、まめやかに一 励まし合い、希望と自信をもって、生きがいある生活につとめ、たしかな未来につながる信条をかかげて、朝夕守りとおすことを誓い合います。

- 一、自然を生き、住みよい環境をつくります。
- 一、きまりを守り、明るい社会をつくります。
- 一、ともに助け合い、楽しい職場をつくります。
- 一、元気に働き、豊かな家庭をつくります。
- 一、希望に生き、たくましい雄武町民となります。

昭和 46 年 3 月 19 日制定

◆編集後記

Editor's note

▼この時期は、卒業式や入学式、新たに社会人になる人など、出会いや別れの取材を多くしてきました。そんな私も広報紙作成を離れることとなりました。3年間取材で沢山の人がお世話になり、多くの経験ができました。私は異動となりますが、これからも広報おうむをよろしく願います。(大辻)

▼4月といえば、新生活や新学期など、変化が多い月だと思います。しかし、新型コロナウイルス感染症の影響で、いつも通りとは行かない人も多くいらっしゃると思います。感染症などの暗いニュースも多いですが、それにも負けずに今年度も頑張っていきたいです。(結城)